

令和 7年度事務事業マネジメントシート（評価）

事務事業名	通信指令管制事業（指令管理課）				
所属部	警防部	所属課	通信指令センター 指令管理課		
章	消防・救急体制の充実強化	節	消防通信体制の強化	主な取組	通信指令業務の効率的運用

1. 事業内容

(1)事務事業の概要		
①各種災害通報の受理及び出動指令に関すること。 ②消防用通信の管制業務に関すること。 ③通信指令センター職員の教育に関すること。 ④消防参集システムの運用に関すること。 ⑤各種回線使用料の納付に関すること。 ⑥災害情報案内及び救急医療情報案内に関すること。		
(2) 事務事業の分析と指標		
① 対象（誰、何を対象にしているのか）	② 手段（どのような方法で実施するのか）	③ 結果（どのような結果に結び付けるのか）
消防組合の指令管制員	指令業務に関する研修等を実施する。	指令管制員が多様な緊急通報を迅速・的確に処理する高度な指令管制技術が習得できる。
これまでの主な取組と成果		
令和7年度埼玉西部地域消防指令センター研修・訓練計画に基づき、実際の通報を参考にした救急要請受信時の接遇や聴取要領、口頭指導実施時のポイント等、救急管制研修を実施したことにより、指令管制技術の向上が図れた。		
事業費		
令和 7年度決算額（千円）	89,316	

2. 事後評価

(1)指標名	単位		実績の推移				
			令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
通信指令センター職員に対する研修等の実施回数	回	目標	2.0	2.0	2.0		
		実績	3.0				
(2)現状分析（目標未達成の理由・分析等）							
救急管制研修を3回実施し、指令管制技術の向上が図られている。 なお、令和7年中における口頭指導（心肺停止疑い）事案件数758件のうち、バイスタンダーによる応急手当実施件数は400件であった。							
(3)事務事業の評価							
総合評価	現状の課題		課題解決に向けた取組方針				
A	指令管制技術を常に向上させていくためには、多様な通報者に対する聴取要領や機器操作の習熟等を研修に取り入れ、救急管制研修の質を高めていく必要がある。		日々、通報を受信している指令管制員の意見等を踏まえながら、聴取要領等の毎年度見直しを行い、結果を研修に取り入れていく。また、Live119等、救急管制に有効な機器の反復操作についても研修に取り入れ、救急管制研修の質を高めていく。				

- 「S」… 目標達成且つ事業の見直し必要なし
 「A」… 目標達成且つ事業の見直し必要あり
 「B」… 目標未達成且つ具体的な解決策あり
 「C」… 目標未達成且つ早急な解決は不可能

令和 7年度事務事業マネジメントシート（評価）

事務事業名	通信指令システム維持管理事業（指令管理課）				
所属部	警防部	所属課	通信指令センター 指令管理課		
章	消防・救急体制の充実強化	節	消防通信体制の強化	主な取組	通信指令機器等の整備

1. 事業内容

(1)事務事業の概要		
①整備計画に基づく消防通信機器の整備に関すること。 ②通信指令システムの維持管理に関すること。		
(2) 事務事業の分析と指標		
① 対象（誰、何を対象にしているのか）	② 手段（どのような方法で実施するのか）	③ 結果（どのような結果に結び付けるのか）
通信指令機器	通信指令機器維持管理計画に基づき、計画的な機器更新を行う。	通信指令システムが正常かつ円滑に稼働でき、緊急通報の受信や安定した部隊運用が図られる。
これまでの主な取組と成果		
通信指令システムの保守を業務委託し、正常かつ円滑な稼働を維持するとともに、埼玉西部地域消防指令センター指令システム・無線設備整備計画を策定し、令和8年度から令和17年度までの10年間における各年度の更新機器及び概算事業費を算出した。		
事業費		
令和 7年度決算額（千円）	74,243	

2. 事後評価

(1)指標名	単位		実績の推移				
			令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
通信指令機器維持管理計画に基づき更新する通信指令システムの機器件数	件	目標	0.0	2.0	1.0		
		実績	0.0				
(2)現状分析（目標未達成の理由・分析等）							
令和6年4月1日から新通信指令システムでの本運用を開始していることから、令和7年度については、更新機器件数は目標及び実績共に0件であった。							
(3)事務事業の評価							
総合評価	現状の課題		課題解決に向けた取組方針				
A	迅速、的確な災害受信及び出場指令を行うため、埼玉西部地域消防指令センター指令システム・無線設備整備計画の定期的な見直しが必要である。		通信指令システム保守結果の反映等、埼玉西部地域消防指令センター指令システム・無線設備整備計画を毎年度見直し、整備・更新を実施していく。				

「S」… 目標達成且つ事業の見直し必要なし
 「A」… 目標達成且つ事業の見直し必要あり
 「B」… 目標未達成且つ具体的な解決策あり
 「C」… 目標未達成且つ早急な解決は不可能